

令和5年度 農業と環境シラバス

科目	農業と環境	年次	1	教科書	農業と環境	年間授業時数	76時間
		単位数	2	出版社	実教出版株式会社	前期38時間・後期38時間	

学習目標

農作物の育成についての体験的・探究的な学習を通して農業に関する基礎的な知識と技術を習得し、農業及び農業学習についての興味・関心を高め、科学的思考力と問題解決能力を伸ばし、農業の各分野の発展を図る能力と態度を育てる。

主な学習内容

1. 野菜・草花等に触れる体験をする。
2. 野菜・草花の基本的栽培方法を学習する。
3. 農業体験または道具の使い方について学習する。
4. プロジェクト学習法を理解し、農業クラブ活動に参加する。
5. 私たちの暮らしと農業の関わりを学習する。

授業について

実験・実習は直接教材に接し、取り扱うことで様々なことを学ぶことができます。積極的に取り組みましょう。実験・実習後は内容を記録簿にまとめて提出してもらいます。学習テーマ・データ・結果・考察とともに感想をしっかりと記録しておきましょう。

また、欠席時数が出席すべき時数の3分の1（13時間）を超えた者のうち、正当な届出のある者にたいしてのみ、特別補充を学期毎に実施することができます。ただし、欠席時数のうち無届の欠席が過半数を超える者は、特別補充を受けることができません。なお、特別補充は、各学期で4時間以内とします。欠席するときには必ず連絡をしましょう。

【授業で大切なこと】

- (1) 全員で協力して実習に取り組んでください。
- (2) いろいろな機械や道具を使用しますので、指導者の指示に従い、安全に使用してください。
- (3) 生き物の「命」を預かっているという事を考えながら実習に取り組んでください。
- (4) 実習をするにあたって5S活動（整理・整頓・清潔・清掃・躰）に取り組んでください。
- (5) 常に周りの行動を把握し、次の手を判断して行動できる段取り力を身につけてください。

評価について

- (1) 定期考査
- (2) 授業態度（準備の様子・協力体制・清掃の様子）
- (3) 授業以外の活動の態度
- (4) 提出物（振り返りシート、レポート、実習記録簿）

以上の事項を総合的に判断し評価します。

評価は、「知識・技能（技術）」「思考・判断・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」（3観点）をA：十分満足できる、B：おおむね満足できる、C：努力を要する、で表します。さらに、3観点を次の割合で点数化し、5段階評価を行います。

評価の観点	知識・技能(技術)	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
比重	1	1	1